

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名	南信濃観光施設管理事業	課名	観光課	事業No.	216
		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H18	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市観光振興ビジョン	
				遠山郷観光戦略計画	
法令・例規等					
事業目的	対象	南信濃地区内の観光関連施設			
	意図	施設の適切な管理運営			

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
		アフターコロナを見据え観光施設の長寿命化や観光客の満足度及び利便性の向上により誘客につながる改修工事を実施しました。令和2年度は、かぐらの湯真空温水ヒーター（重油ボイラー）更新工事他19件、かぐらの湯木質ペレットボイラー用制御モジュール取替他25件の修繕を実施しました。 源泉ポンプの事故により休業していたかぐらの湯については、飯田市の直営により7月から沸かし湯による営業を再開しました。かぐらの湯の沸かし湯による直営においては、地元主体のかぐらの湯応援団によりテント市の開催や周辺の環境整備など、来訪者へのおもてなしの取組が行われ、今後の「道の駅遠山郷」の集客に向けた可能性が見られました。	観光施設管理業務委託料	1,834
		観光施設整備工事費	25,456	
		観光施設借地料	3,873	
		観光施設修繕料	2,475	
		観光施設維持管理費	3,254	
		臨時休業等補償費	9,766	
		道の駅連絡会負担金	70	
		会計年度任用職員人件費	10,143	
		南信濃温泉交流施設管理費	20,349	
		その他の経費	0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			観光関連施設の維持管理	施設	26	26	26	26	26	26
観光施設整備事業	事業	1	1	1	4	1	2	5	20	
観光施設修繕施工数	件	1	16	1	11	1	23	16	26	
南信濃温泉交流施設入浴者数	人	-	-	-	-	-	-	39,000	13,699	

2年度決算(千円)	予算額	116,328	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	77,220	(県) 市町村合併特例交付金								
	財源の状況	国庫支出金	0	(地) 過疎対策(充当率100%)							
		県支出金	3,300	(そ) ふるさと寄附金 4,040千円							
		地方債	11,500	(そ) 諸収入 10,457千円							
		その他	14,497	1→2 繰越明許費 3,080千円							
一般財源		47,923	2→3 繰越明許費 9,732千円								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 中 事業	中 事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	20	4	64,356	46,728	南信濃観光施設管理費
2	1	7	1	4	1	3	15,798	10,143	会計年度任用職員人件費
3	1	7	1	4	20	7	36,174	20,349	南信濃温泉交流施設管理費
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・アフターコロナを見据え観光施設利用者の快適な利用を図るため、各施設の維持管理に努めてきましたが、建物や設備の経年劣化による修繕が今後も発生することが予想されます。
上記の課題解決のための有効策	・建物、施設の経年劣化の状況を把握し、計画的な維持管理、修繕等が必要です。 ・三遠南信自動車道の開通を見据える中で、老朽化が進んでいる「道の駅遠山郷」の今後のあり方を地域の皆さんとともに検討し、長野県の南の玄関口にふさわしい中核を担う施設となるよう温泉の復旧も含め検討を進める必要があります。
次年度に向けての取り組み	・公共施設マネジメントの検討を進める中で、各施設の現状を的確に把握し、快適な利用環境を維持するため、計画的に修繕、工事等を行います。 ・かぐらの湯については、課題解決の道筋がつくまでの間、市直営により管理を行います。